

議 会 だ よ り 2023

vol.119

イザナ

秋空とゴルフ場

人事・条例	2
令和4年度決算	3
令和5年度補正予算	7
ここはどうする6氏が一般質問	9～14

9月定例会 9月8日～14日

令和5年

9月定例会

教育長・教育委員会委員を任命

令和5年9月定例会は、9月8日から14日までの会期で開かれ、令和4年度決算認定、令和5年度補正予算など村長提出23議案を審議・採決した。

また、一般質問には6氏が登壇し、村政全般についてたどした。その概要は以下のとおり。

人事

教育長に
池田美延氏
(再任)

教育長に池田美延氏を任命したいとの提案があり、全員賛成で同意した。

略歴

昭和45年生、和食。
任期は、令和5年10月4日から3年間。



池田美延氏

教育委員に
籠谷理香氏
(新任)

教育委員に籠谷理香氏を任命したいとの提案があり、全員賛成で同意した。

略歴

昭和39年生、西分。
任期は、令和5年10月1日から4年間。



籠谷理香氏

令和5年度補正予算

一般会計
(専決第2号)

511万円を追加し、総額を56億9565万円とするもの。
参議院議員補欠選挙費511万円。
【全員賛成で承認】

条例

火災予防条例の改正

法および関連省令の改正に伴い、火災予防条例の一部を改正するもの。

主なものは、電気自動車等への急速充

電設備の大容量化や設置位置、構造及び管理に関する基準の見直しなど。
【全員賛成で可決】

施設総合運営審議会条例の改正

条例中の対象施設に村地場産品直販所かつば市を加えるもの。
【全員賛成で可決】

介護保険条例の改正

新型コロナウイルス感染症の影響による保険料の減免対象の適用期間を延長するもの。
【全員賛成で可決】

地場産品直販所設置条例の改正

主に地場産品直販所の指定管理者による管理を可能とする規定を盛り込んだもの。
【全員賛成で可決】

令和4年度 決算

一般会計

歳出 53億1,426万円

新型コロナウイルス感染症及び物価高騰に関連する経済対策

令和3年度住民税非課税世帯等臨時特別給付金の対象とならなかった、令和4年度の住民税非課税世帯59世帯に10万円の給付金を支給した。

電力・ガス・食料品などの価格高騰による負担増への対策として、価格高騰緊急支援給付金5万円を58世帯に支給した。

消防

例年の訓練に加え、

ふるさと納税返礼品費

6億7,649万円

ふるさと納税利用料

2億2,984万円

防災

水防訓練や抜き打ち訓練、水上バイク隊の訓練などを行った。火災予防パレードや年末特別警戒を行い火災予防活動に努めた。火災で1件の出動があった。救急業務委託は、前年度より85件増加の317件の出動があり、急病194件、転医50件、負傷49件、交通事故など24件となっている。

災害用情報通信設備として公衆無線LANの設備を第1分団屯所、琴ヶ浜野外劇場、かっぱ市に設置を行った。

自主防災組織

非常用食料品(アルファ米、飲料水、缶詰、缶入りパン、保存用ミルク)、毛布、簡易トイレ処理袋、ハイブリッド発電機、スポットエアコンなどを購入し、災害に備えている。

租税債権管理機構

村税の4年度の徴収率は99%を超えている。滞納繰り越しの徴収率も57%となっており、滞納額も3年度の1011万円から4年度決算では、807万円と縮小傾向にある。

健康・福祉

各ふれあいセンターは、新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら、健康維持や介護予防事業を行った。6か所で延べ1万8405人、外出支援バスは延べ3495人の利用があった。

がん検診、集団健診は4年度も感染症対策として、事前予約制を導入し、安心して受診できるように取り組んだ。健診結果説明会は

110人が参加した。また、30歳以上を対象としている若年健診は、14人が参加した。小学4年生と中学1年生を対象に小児生活習慣病予防健診を行い、52人の参加があった。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業では、老朽化していたふれあいセンター4か所の空調設備を、除菌機能などを備えた機種に改修した。



よかつぱ健診 (小児生活習慣病予防健診)

産業振興

地籍調査事業は、和食乙地区の574筆143平方キロメートルの一筆地調査および測量業務を行った。

移住促進は、「高知暮らしフェア」に對面による参加をした。

高知県東部地域合同で企画した体験ツアーは4人の参加があった。移住促進住宅は、新たに1件整備し、7棟となった。和食西北芝の分譲宅地は、6区画のうち3区画を販売した。

園芸用ハウス整備事業のレンタルハウス整備で規模拡大1件、新規就農区分1件、高度化1件、サポート区分1件の合計4件と流動化区分の中古ハウス2件の支援も行った。

商業では、小規模事業者経営改善資金の利

子補給を行い、商業業者への経費負担の軽減を図った。

一般住宅の耐震対策では、耐震診断5件、耐震設計6件、改修工事9件、ブロック塀改修2件の支援を行った。

空き家対策事業は、老朽住宅除却4件を支援した。

村が空き家を借り上げて、10年間移住者に貸し出す中間管理住宅1件の改修工事が完了した。



東部移住体験ツアー

土木環境

7月豪雨で、村道赤野線で極楽地区の法面の土砂崩れがあり、復旧工事を行った。そのほか道路や水路の土砂の浚渫などの災害対応工事も行った。

道路事業では、村道千原線、長谷線の舗装改修、和食浜地区の村道琴ノ浜線の側溝蓋改修、津野地区の村道桜ヶ内線の道路拡幅工事を行った。

農業土木では、4年度から3年計画で長寿命化計画に基づき、津野地区の用水路補修工事を行った。

治水対策として和食排水機場では、2年度から4年計画で長寿命化工事を進めており、4年度は完成から31年が経過するNo1主ポンプの分解整備並びに除塵機操作盤の更新工事を

発注した。

高規格道路事業は、和食陸橋東側の高規格道の橋脚工事が行われ、これに合わせて江渡川の護岸改修工事を行った。

和食ダム事業では、8月にダム左岸の再掘削が完了し、ダム本体のコンクリート打設を再開した。

猫の不妊手術費用の助成は、18件の補助を行った。



和食排水機場

ふるさと納税

寄附額は3年度より約2億5540万円増加し、22億5630万円。4年度に開始した「ふるさと納税型クラウドファンディング」で、5億1547万円の寄附があった。

集落活動センター

シキビやサトウキビの収穫、販売、竹林整備に加え、草刈りや伐採の依頼が多く、収益が増加している。

加工品について、グルメ&ダイニングショーに参加するなど販路拡大に努めた。

教育

学校教育では、小学校体育館の雨漏り対策のため屋根改修工事を行った。

また、小中学校に整

備したタブレット端末は、持ち帰りでの学習に活用できる環境整備を行い、12月から順次家庭で取り組めるようにしている。

社会教育では、シニアスマホ教室や夏休み子ども教室、生涯学習振興週間、成人式を行った。

社会体育は、ソフト

ボール大会、新春タコ山登り、村内駅伝を3年ぶりに開催した。

美術館では、筒井氏の絵画8点の修復を行った。

また、SPレコード展など12企画展を開催し、資料館、美術館に年間2963人が訪れた。

【全員賛成で認定】



夏休みこども教室

住宅資金

歳入884万円、歳出846万円。

4年度は、貸付元利金300万円を徴収し、1人の償還が完了した。

3年度と比較して徴収額は減少しているが、順調に滞納整理が進み、徴収すべき貸付元利金の総額が縮小していることによるものである。

高知県住宅新築資金等貸付助成事業の補助決定を受け、1人を不納欠損処分し滞納整理を行った。

償還途中の人も計画的な償還が進められ、未収金額の減少を図る。

【全員賛成で認定】

国保会計
歳入7億4266万円、歳出7億4004万円。

国保事業における平均世帯数は73世帯、平均被保険者は1304人。前年度比、24世帯の減少、被保険者は47人の減少。

保険給付費は4億7372万円、前年度比3・3%の減少。特定健診の受診率は前年度より減少したが、新型コロナウイルスの影響もあり、低い状態が続いている。

医療費の抑制には、疾病を早期発見、治療や日頃の生活習慣が大切であり、特定健診の受診率向上に取り組む。

【全員賛成で認定】

介護保険会計

歳入5億7590万円、歳出5億6867万円。

4年度末村人口は3614人、高齢者は1347人、高齢化率は

37%で前年度比0.4%減少したが、高齢化率は依然として高いままである。

1号被保険者は、前年度比24人減少の1302人、認定者は11人増加の269人、サービス受給者は16人増加の214人であった。

介護給付費の歳出決算額は5億1876万円、前年度比127万円の減額となった。

給付費増加率の高いサービスは、施設サービスの2億7264万円、前年度比8.1%の増加。

しかし、居宅サービス費は、1億6295万円の前年度比12%減少となっている。

在宅サービス費は減少になったが、施設サービス費は増加傾向が続いている。

介護予防、重度化予防として、各ふれあい

センターでの運動や栄養、口腔機能向上の介護予防教室、村民会館での介護教室を開催した。

【全員賛成で認定】

後期高齢者医療会計

歳入7267万円、歳出7144万円。

被保険者数は79人となり、前年度比8人の増加。

保険者である「高知県後期高齢者医療広域連合」への負担金は、48万円増の7073万円となった。

【全員賛成で認定】

簡易水道会計

歳入2億191万円、歳出1億9469万円。

城本地区、長谷寄地区の老朽管の布設替え工事を実施した。

また、黒潮配水池の水位などの異常を素早く把握できるように、中央監視システムを導入した。

これにより、水道施設の状況把握やトラブル時の早期対応が出来るようになった。

7月上旬以降、降雨量が少なく、水道水の安定供給が危ぶまれる状況となったが、水利組合や村民の協力により給水制限に至らなかった。

水道設備の維持管理は、配水管の破損や不具合の発生時は、早期の復旧を図り、安定した水道水の供給に努めた。

【全員賛成で認定】

下水道会計

歳入2億3051万円、歳出2億2983万円。

会計事務では、令和6年度からの公営企業会計導入に向けて固定資産の調査や評価を行った。

下水道への接続は、一般住宅24戸で、年度末の下水道加入率は78.3%となった。

【全員賛成で認定】

議会の動き

7月

10日(月)	令和4年度決算審査(事前審査)	【監査委員】
20・21日(休金)		
12日(水)	議会だより118号第3回広報編集委員会	
14日(金)	一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会総会 高知県東部自動車道整備促進期成同盟会総会 国道493号整備促進期成同盟会総会 例月出納検査	【議長】 【議長】 【議長】 【監査委員】
18日(火)	ごめん・なはり線総会 安芸広域市町村圏事務組合定例議会	【議長】 【議長】
19日(水)	経済建設常任委員会視察(西分漁港他視察)	
23日(日)	安芸地区消防操法大会視察	
25日(火)	令和4年度決算審査	【監査委員】
26日(水)	四国8の字ネットワーク四国整備局要望	【議長】
27日(木)	令和5年度高知県市町村議会議員研修会	
31日(月)	村議会視察(地域高規格道建設現場他)	

8月

1・2日(火・水)	四国8の字ネットワーク中央要望(国土交通省他)	【議長】
14日(月)	県政に対する意見交換会	【議長】
15日(火)	芸西村戦没者追悼式	【議長】
18日(金)	安芸郡町村議会議員研修会	
22日(火)	例月出納検査	【監査委員】

9月

1日(金)	令和5年第3回芸西村議会「定例会」議会運営委員会	
8日(金)	令和5年第3回芸西村議会「定例会」開会	
13日(水)	令和5年第3回芸西村議会「定例会」一般質問	
14日(木)	令和5年第3回芸西村議会「定例会」審議採決・閉会 議会だより119号第1回広報編集委員会	
18日(月)	令和5年度芸西村敬老会	【議長】
20日(水)	例月出納検査	【監査委員】
25日(月)	高知県町村会特別委員会 議会だより119号第2回広報編集委員会	【議長】
27日(水)	安芸広域市町村圏事務組合臨時総会	【議長】
26・27日(火・水)	令和5年度全国町村議会広報研修会	
28・29日(休金)	四国四県町村長・議長大会	【議長】

補正額4億3,784万円の増額 総額61億3,350万円

令和5年度
補正予算

主なもの

区 分	金 額
ふるさと納税ワンストップ受付登録委託料	1,089万円
新型コロナワクチン予防接種委託料	519万円
新型コロナワクチン予約受付事務委託料	506万円
緊急自然災害防止対策工事費	1,500万円
ブルドーザー修繕料	650万円
排水ポンプ場修繕料	650万円
周辺整備設計委託料	800万円
施設整備基金積立金	3億5,000万円

【全員賛成で可決】

緊急自然災害防止対策工事費
施設整備基金積立金

3億5,000万円
1,500万円

住宅資金貸付会計
(第1号)

37万円を追加し、総額を337万円とするもの。
一般会計繰出金37万円。

【全員賛成で可決】

介護保険会計
(第1号)

3056万円を追加し、総額を5億9676万円とするもの。

主なものは、国庫支出金清算返納金2538万円、診療報酬支払基金493万円など。

【全員賛成で可決】

簡易水道会計
(第1号)

716万円を追加し、総額を4億1285万円とするもの。

主なものは、水道システム改修委託料60万円、布設替工事221万円など。

【全員賛成で可決】

国保会計
(第1号)

261万円を追加し、総額を7億9455万円とするもの。

主なものは、県支出金精算返納金110万円、基金積立金131万円など。

【全員賛成で可決】

後期高齢者医療会計
(第1号)

122万円を追加し、総額を8470万円とするもの。

後期高齢者保険料負担金122万円。

【全員賛成で可決】

下水道会計
(第1号)

68万円を追加し、総額を2億5778万円とするもの。

修繕料68万円。

【全員賛成で可決】

令和5年 第3回 9月定例会 審議結果

議案	結果	岡村星弥	堀川友久	坂本史	山本俊二	濱田圭介	安岡公子	西笛千代子	仙頭一貴	小松康人	岡村俊彰
議案第38号 芸西村一般会計補正予算（専決第2号）の承認	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第39号 教育長の任命	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第40号 教育委員会委員の任命	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第41号 芸西村火災予防条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第42号 芸西村施設総合運営審議会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第43号 芸西村介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第44号 芸西村地場産品直販所の設置及び管理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第45号 令和4年度芸西村一般会計の決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第46号 令和4年度芸西村住宅新築資金等特別会計の決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第47号 令和4年度芸西村国民健康保険特別会計の決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第48号 令和4年度芸西村介護保険事業特別会計の決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第49号 令和4年度芸西村後期高齢者医療特別会計の決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第50号 令和4年度芸西村簡易水道事業特別会計の決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第51号 令和4年度芸西村下水道事業特別会計の決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第52号 令和5年度芸西村一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第53号 令和5年度芸西村住宅新築資金等資金等特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第54号 令和5年度芸西村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第55号 令和5年度芸西村介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第56号 令和5年度芸西村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第57号 令和5年度芸西村簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第58号 令和5年度芸西村下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第59号 高知県広域食肉センター事務組合の解散について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第60号 高知県広域食肉センター事務組合の解散に伴う事務承継に関する議案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
発議第4号 現行健康保険証の継続を求める意見書	可決	○	○	×	○	○	○	×	○	×	議長

※「○」は賛成。「×」は反対。「議長」は採決に加わらない

一般質問

ここはどうする

9月定例会では6氏が登壇し、村政全般について質問しました。

坂本 史 …… 9・10p

- ・带状疱疹ワクチンの助成は
- ・妊婦に対する医療費の助成は

安岡 公子 …… 10・11p

- ・おでかけバスの利便性向上は
- ・粗大ゴミなどの対応について

西笛 千代子 …… 12・13p

- ・巨大地震の備えについて
- ・移住促進住宅の活用は

山本 俊二 …… 13p

- ・和食川流域の治水対策の進捗状況は

仙頭 一貴 …… 14p

- ・観光振興は行政主導で

濱田 圭介 …… 14p

- ・クラウドファンディング型ふるさと納税は

带状疱疹ワクチンの助成は 情報収集を行いながら検討 村長



坂本 史 議員

問

坂本 議員

带状疱疹は、子どもの時に感染する水ぼうそうウイルスが原因で、過労やストレスなどにより免疫機能が低下すると再び活性化する。成人の90%以上が体内にウイルスを持っており、特に50歳代からの発症率が高くなっている。

带状疱疹ワクチンは発症予防、重症化予防が期待できるとされている。

村民の健康を守るため、

答

都築健康福祉課長

め、接種費用の一部助成は有効な手法と考えるがどうか。

全国で带状疱疹ワクチンの補助を行っている自治体は、約75%と決して多いとは言えない状況である。

ワクチン接種費用も1回1万円から2万円と高額であり、長期間の予防効果が期待されるワクチンは、2回接種することが推奨されている。

全額助成または一部助成の自治体もあり、温度差があると思われる。

今後、県内の状況や国への要望なども踏ま

問

坂本 議員

ワクチンの接種費用が高額であることから、接種を躊躇される人がいるのではないかと

答

溝渕 村長

どれだけのニーズが存在しているかについては、調査してみないと不明確なところがある状況である。

全国および県内の取り組み状況など情報収集を行いながら検討していきたいと考えている。

妊婦に対する医療費の助成は 力強く要望を続けていきたい

村長

問 坂本議員

妊婦は妊婦健診受診票を妊娠週数に応じて使用することができ、14回分の受診費用が公費で助成されている。

しかし、受診票に定められた検査以外の検査や処置が必要になることがある。

その際は、保険診療であれば給付割合に応じて自己負担が発生する。

妊娠時の経済的負担を軽減し、すこやかな妊娠と出産のためにも、妊婦の自己負担分の助成はできないか。

答 都築健康福祉課長

14回の健診で決めら

れている項目以外の検査については、妊婦自身の基礎疾患などに伴

い必要なものや、妊娠によって引き起こされた疾患に対する検査などがある。

また、検査項目も多種多様で、個人差も大きいことが考えられる。

まずは、国および県で制度の必要性などについて、議論してもらうことが必要と考える。

問 坂本議員

妊婦の自己負担分の助成により、妊娠期を通じてすこやかな身体と心が確保できる。

また、経済的な負担も和らげて、生活の安

おでかけバスの利便性向上は 検討を重ねていきたい

村長



安岡 公子 議員

問 安岡議員

現在運行中のおでかけバスは、どの路線もサンシャイン行きとなっている。

役場までのダイヤを設け、利便性の向上を図ってはどうか。

また、本村にはスクールバスがなく、送迎に苦労している家庭がある。

この負担を少しでも軽減するためにおでかけバスに登下校時のダイヤを組み入れては

どうか。

答 池田企画振興課長

おでかけバスは、ニーズ調査を行い運行してきた。

定着しているルートの変更で、混乱や不便が生じないよう、十分な検討と、列車との接続も勘案する必要がある。

今後、乗車人数などを調査分析し、検討していきたいと考えている。

問 安岡議員

役場に停留所ができることによって、文化施設・催し物・銀行ATMなどに行くこと



ができる。

また、週に2日でも子どもたちはバスで帰ることができる。

行動範囲を広げ、大人も子どもも利用できる村のバスにすることが大事ではないか。

答 溝 刈 村 長

バスルートへの設計については、綿密なニーズ調査に基づいた運行ルートの策定と、陸運局の許可が必要だ。

村民のニーズも多様化してきているので、見直しをしていくことは大切だと考える。

ルート変更の、メリットとデメリットを丁寧と比較しながら、多くの人に利用してもらえる運行を目指して検討を重ねていきたいと考えている。



おでかけバス

粗大ゴミなどの対応について 実態にあった改善策を 村長

問 安岡 議員

粗大ゴミ集積所の入り口が狭く、急坂で危険性を感じる。

平地への移転も含めて改善の検討が必要ではないか。

また、持ち込みが困難な人への対策を講じるべきではないか。

答 山本土木環境課長

移転については、場所や財源確保の問題があるが検討を進めたい。地盤の嵩上げで急勾配を改善する方法も含めて、現在の施設を利用しながら、利便性が向上する取り組みを検討していきたい。

集積所に運搬できない人には、業者への紹介など、情報提供を行っていききたいと考えている。

問 安岡 議員

粗大ゴミの分別・回収の仕方は、自治体によってさまざまで、地域のゴミステーションで回収しているところもある。

地域の協力も得て、年に1回でも地域回収に取り組みべきではないか。

答 山本土木環境課長

ゴミステーションでの回収は、安全性・地

域の理解など運用面での課題が多い。

粗大ゴミ集積所への持ち込みに協力をお願いしたい。

答 溝 刈 村 長

直ちに移転実現は難しい。

まずは、現在の集積所の改良などに力を入れ、利便性・安全性の向上を図っていく。

地域回収は、出す人にとっては利便性向上となるが、新たな問題が出てくる。

本村の実態にあった対策を具体的に実施できるよう改善策を考えていきたい。

巨大地震の備えについて

自助・共助の力を高めることが必要 村長

える。

答 溝 渕 村 長

津波被害が想定される地区では近隣住民が声を掛け合い、すぐに避難を行うなど、まずは命を守る行動が肝要である。

事前復興について具体的な取り組みはこれからになる。

専門家や各関係者の意見を聞きながら、津波の被害想定や土地の利用状況に沿った方針を定めていくようになるかと考える。

地震による被害を最小限にするには、自助・共助の力を高めることが必要だと考える。

防災事業に触れる機会を増やしていけるようにしたい。

答 都築健康福祉課長

本村の避難行動要支援者で、名簿提供の同意をした60人分を自主防災組織に情報提供している。

年度初めに名簿の更新を行い、確認は毎月行っている。

新たに要介護となった人など名簿未登録者は、関係機関とも協議しながら確認作業を進めていく。

日ごろから、避難訓練の際に地域の避難行動要支援者などについて、情報共有することが大事ではないかと考



西 笛 千 代 子 議 員

問 西 笛 議 員

巨大地震などの災害にむけて9月3日の防災訓練が行われたが、参加地区の人数と、事前に防災組織に参加・不参加を聞いたようだが、その理由は。

住民の防災に対して意識を高めるために村としてはどうしていくべきかと考えているか。要介助者の調査の現状と事前復興についての考えを聞く。

答 松本総務課長

訓練に参加した地区は、16地区250人の報告があったが、18の地区が参加していない。実際は自主的に避難した人もおり、もう少し多い。

参加・不参加の確認理由は、状況確認や要望調査などを行っており、職員派遣の割り振りのために毎回行っている。

住民の防災意識を高めるためには、まず、自分の命は自分で守るという意識を持つことも重要なことだ。

これまでもさまざまな取り組みをしてきたが、継続して意識向上への啓発を進めていく。



9月3日の防災訓練の様子

移住促進住宅の活用は

住環境の整備が必要

産業振興課長

問 西 笛 議 員

空き家バンクに登録し契約されていない住宅が5棟あるようだが、これを移住者向け住宅に活用できないか。

県の中山間地域再興ビジョンの骨子案が明らかになったが、村の考えを聞く。

答 古永産業振興課長

村が所有者から借り上げて移住者に貸し出す中間管理事業や、移住者本人、若しくは所有者が移住者に提供する目的に改修費用を補助する空き家リフォーム事業がある。中間管理事業として取り組むことは可能だが、改修費用が想定以上になることが予想される。

売買で譲渡を希望している所有者の意向もあるのでホームページで募集している。

リフォーム事業では毎年1戸分の事業費を想定して補助金を計上している。

空き家の調査、募集はしているが、さまざまな事情があり登録物件数が伸び悩んでいる状況である。

移住促進のためには住環境の整備は欠かせない。

答 溝 渕 村 長

今年度末に、県の10年後に目指す将来ビジョン及び4年間の行動計画のアクションプランが示される見通しのような。

中長期的な視野に立

和食川流域の治水対策の進捗状況は

関係機関と連携し取り組む

村 長



山本 俊二 議員

問 山 本 議 員

本村は和食川流域の治水対策が最重要課題の一つ。

管理者の県に対し、和食川導流堤の閉塞対策事業及び和食川の流量計画と、和食川導流堤の河口断面積等の検証について要望書を提出しているが、進捗状況を聞く。

答 山本土木環境課長

県とは、「水門が閉塞ない状態で、水位の高い和食川の状況やハウスが浸水している状

態」、「圃場整備内排水路の水位の高さ状況」、「農家の意見、要望や議会での一般質問や答弁内容、村の意向など」3点を重点的に検討。

ハウスの浸水状況を把握し、排水ポンプの増設について検討。水門の増設は、現状を理解し、和食川の下流部に集まる雨水排水を速やかに海に流し、下流部の水位が上がるらない対策を検討している。

問 山 本 議 員

情報共有や関係機関での合同会議など、農家の意見も届く会議なのかを聞く。

答 溝 渕 村 長

令和元年に和食川

導流堤に関する検討会を立ち上げ、県河川課をはじめ関係者が一堂に会し解決策について情報共有を行う場を設けた。

それ以降、情報共有がスムーズにはなつたと感じ、排水を利用した砂の搬出計画や、ポンプの増設の検討にもつながっていったと感じる。

これからも関係機関が一緒になって取り組む意識の着実な醸成に手応えを感じている。

しかし、ゲリラ豪雨などの頻度は増えており、関係機関に引き続き働きかけをし、連携をしながら治水対策に取り組む。

観光振興は行政主導で

独自の観光振興を図る

村長



仙頭 一貴 議員

問 仙頭 議員

本村の観光振興は、現在どのような取り組みをしているのか。

観光振興・開発は、民間に頼りすぎているのではないか。

本村で観光地といえば琴ヶ浜で、将来的には和食ダムも含まれてくる。

両方とも国有地や県管理で、民間で観光開発するにはハードルが高い。行政が主導で行うべきだと思いが村長の考えを聞く。

答 池田企画振興課長

現在、交流人口増魅力発信の取り組みとして、芸西村観光振興事業費補助金を活用した芸西村周遊観光パンフレットの制作、観光資源を活用したイベントのブラッシュアップ、地場産品直販所

かつば市は来客増に向けて、村、県と定期的な打ち合わせを行っている。

ハード面では、ふるさと納税型クラウドファンディングを活用したグランピング施設が完成する。

官民連携して、観光客誘致に向けて取り組みを進めていきたい。

答 溝 村 長

観光振興は、観光資

源を活用しながら、認知度の向上、魅力の発信に努めて地域の発展につなげていくことが基本であると考えている。

そのためには、民間活力の導入、広域での取り組み、官民協働が不可欠だ。

最近の流れとして、民間企業の参入や観光開発が進んでおり、今後の広がり期待できる状況だ。

しかし、行政主導では、観光施設の建設など維持管理に多額の予算が必要になる。

村として多様化するニーズに対応して、どうすれば地域活性化につながるか、関係者と協議をしながら、独自の観光振興を図っていくように検討を重ねていきたい。

クラウドファンディング型ふるさと納税は

事業の検証を行い精度を高めていく

村長



濱田 圭介 議員

問 濱田 議員

ふるさと納税の活用のひとつとして、クラウドファンディングを利用し、「地域活性化

地場産品の振興、村民生活の質の向上」を目的とした事業者支援事業補助金を実施している。

高知新聞でもこの事業を取り上げたことから、事業に興味を持つたり、事業効果に期待する村民も多いと思う。村民の事業への理解を深めるためにも、事

業の進捗管理、事業目的達成の判断やタイミング、村民へのメリット・効果について聞く。

答 池田企画振興課長

事業実施中は、訪問や情報共有などで進捗管理を行い、必要があれば指導も行う。

また、事業完了後3年間は事業の状況などを報告することになっており、その都度、経営状態や目的の達成状況を確認する。

事業による村民へのメリットは、交流人口の増により村のにぎわいがつくられる。

また、新商品開発による買い物の選択肢の拡大、事業者が野菜や食材などの村産品を

活用することによる生産者の収入増、村の知名度やイメージアップなどが考えられる。

答 溝 村 長

クラウドファンディングは、使途を明確にして寄附を募るもので、全国的に広がりを見せている。

本村では令和4年度から取り組んでおり、令和4年度には4事業に交付決定、本年度も6事業がエントリーしている。

今後は、各事業の検証や制度の見直しなどを行い、事業の精度を高めていく。

常任委員会 活動報告

経済建設常任委員会

西分漁港荷捌き場
の視察

(7月19日)

西分漁港荷捌き場は平成7年に建築され27年経過している。劣化の状況・劣化診断など説明を受け現地の視察をした。



西分漁港の内の劣化した柱

研修

高知県市町村議会議員研修



高知県市町村議会議員研修が、7月27日に高知県民文化ホール(グリーンホール)で開かれ、県内の市町村議会議員が一堂に会し、「時代に対応した地域づくり」を考えると題した講演など、研修を受けました。

全国町村議会広報研修会



町村議会広報研修会が、9月26日に東京・日経ホールで開催され、本村からは3人の議員が参加し、議会広報紙づくりのポイントなどの研修を受けました。

意見書(議員提出)

◎現行健康保険証の継続を求める意見書

【賛成多数で可決】

送り先：衆参両院議長及び内閣総理大臣ほか関係各大臣

視 察

東部自動車道工事現場視察

7月31日、議員全員10人が工事現場の視察を行いました。
土佐国道事務所の職員、工事を請け負っている会社の担当者から、国道55号線歩道橋近くで行われている橋脚工事、叶木地区の盛土による工事、芸西西ICの延長部分の工事の説明を受けました。



施行中の村内東部自動車道

議会の傍聴にお気軽に
おいでください。

議場の音声を庁内放送しております。
庁舎3階へお越しになれない方も、
庁舎1階・村民会館1階でもお聴き
いただけます。

次の定例会は
12月の予定です。

編集委員

委員長 岡村 星弥
副委員長 堀川 友久
委員 坂本 史
仙頭 一貴
西笛 千代子
濱田 圭介
安岡 公子
山本 俊二
小松 康人
岡村 俊彰

詳しく知りたい方は、村のホームページでも会議録が閲覧できます。

議会事務局

(TEL) 33-2137